

ソフトバンクグループが OpenAI への追加出資を公表 – OpenAI の事業展開を注視

以下は、ソフトバンクグループ株式会社（証券コード：9984）が米国の人工知能研究開発企業である OpenAI Group PBC（OpenAI）に追加出資を行うことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は2月27日、OpenAI に対してソフトバンク・ビジョン・ファンド2を通じて300億米ドル（4兆6,743億円）の追加出資を行うと公表した。出資は26年4月、7月、10月の3回にわたり100億米ドルずつ行われる。本追加出資において支払われる対価は、当初、主要取引金融機関からのブリッジローン等により調達し、その後、保有資産の活用や各種調達に順次切り替える予定である。
- (2) 25年以降、当社はAI関連への投資を加速させている。インフラであるデータセンター/電力から半導体設計（チップ）、フィジカルAI分野のロボットまで投資対象は幅広いが、AIモデルの開発を担うOpenAIへの投資が最重要と位置付けられている。OpenAIに対するこれまでの累積投資額は346億米ドルで、本件によって投資額が更に積み増されることになる（当社の出資比率は約11%から約13%となる見通し）。OpenAIの週間アクティブユーザーは8億人超に達し、同社の年間経常収益は200億米ドルまで拡大している。一方、多額の運営・開発コストが先行している模様で、中長期的な収益成長が課題である点に変わりはない。競合先との競争が激化する中、OpenAIの事業拡大が想定通りに進むか注視していく必要がある。
- (3) 本件をもって、直ちに格付を見直す必要はないとJCRは判断している。当社は財務方針として①LTV25%未満（通常時）、②少なくとも2年分の社債償還資金を保持することを掲げている。本件実施後も、当社はこれらの財務方針を堅持すると表明している。ただし、OpenAIを中心とする非上場のAI関連銘柄が保有株式価値に占める割合は着実に高まっており、NAVの変動リスクが上昇している点に留意が必要である。今後ともAI関連の投資を継続する可能性は相応に高く、引き続き、LTVの管理状況を注視していく。

（担当）本西 明久・村松 直樹

【参考】

発行体：ソフトバンクグループ株式会社

長期発行体格付：A

見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル